



# 7月のほけんだより



令和5年7月発行  
森川保育園

日に日に日ざしが強くなり、心弾む夏がやってきました。夏は、暑さのために食欲がなくなったり、体力を消耗したり、身体の調子を崩しやすい時期です。6月、園では、アデノウイルス感染症と診断されたお子さんがいました。健康状態には十分注意して、夏を過ごしましょう。

**内科検診のお知らせ：7月6日（木）9時30分から内科検診があります。**日頃気づきにくい病気を早く発見したり、成長を知ったりすることは、子どもの健康を守るためにとても大切です。医師に聞いておきたいことなどがあれば、お知らせ下さい。

## プールOK? チェックリスト

子どもたちの大好きなプール遊び。元気に楽しく遊べるよう、毎朝の体調チェックをお願いします。少しでも、心配な点がある場合は、ご相談下さい。

### □熱は何度ですか？

37.5℃以上が、プールに入れない目安です。前日、熱があった時は、控えた方がいいでしょう。

### □食欲はありますか？ 下痢はしていませんか？

### □前日、よく眠れましたか？

### □目やにや充血はありませんか？

朝だけの目やには心配ないことが多いのですが、昼間も目やにや充血が見られるようなら、結膜炎のおそれもあります。

### □せき・鼻水、耳だれは出ていませんか？

### □皮膚に異常はありませんか？

傷やただれがあって乾燥していない場合は、プールは避けたほうがいいでしょう。水いぼ、とびひの治療は済んでいますか？

**プールの日は、プールカードの記入を忘れずに！！**

**記入していない場合は、プールへ入れませんので、記入漏れがないようにお願いします。**

## アデノウイルス感染症

感染すると、高熱が続き、喉の腫れや痛み（咽頭炎）が見られたり、目やにや目の充血（結膜炎）が見られます。

よく見られる症状は、咽頭炎です。結膜炎も加われば、咽頭結膜熱（プール熱）といいます。

プールで感染することが多いのですが、プールに入らなくても感染します。

夏に流行しますが、冬にもみられます。“喉の痛みと頑固な発熱”が特徴です。

アデノウイルスには、胃腸炎や肺炎、膀胱炎を起こすなど、50種類くらいのタイプがあります。

### \*主な症状

①発熱：38～40度くらいの熱が4～5日続きます。1週間以上続くこともあります。

②咽頭炎：咽頭～扁桃の腫れがひどく、真っ赤になります。喉の痛みも強く、食欲が落ちます。

③眼症状：結膜炎による目の炎症が見られます。目が痛くなったり、かゆくなったり

目やにが見られるようになります。通常、片目から始まり両目に広がります。

### \*こんな時は、早目にもう一度、診察を受けましょう

①前の日と比べてどんどん悪くなってきたと感じるとき

②いくら元気があっても、38度以上の熱が3日以上続くとき

### \*登園のめやす

主要症状が消退した後2日を経過するまで登園停止になります。医師の指示に従い、許可を得てから登園しましょう。登園時、登園許可証明書（保護者記入）の提出をお願いします。

